

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 平成17年12月22日 (2005.12.22)

【公表番号】 特表2004-537576(P2004-537576A)
【公表日】 平成16年12月16日 (2004.12.16)
【年通号数】 公開・登録公報2004-049
【出願番号】 特願2003-518456(P2003-518456)
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/353
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 25/28
C 0 7 D 311/62

【F I】

A 6 1 K 31/353
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 25/28
C 0 7 D 311/62

【手続補正書】

【提出日】 平成17年2月10日 (2005.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳動物被験体においてアミロイド疾患、またはアルファ・シヌクレインもしくはNAC線維新生を特徴とする疾病を治療するための薬剤組成物であって、治療的有効量のカテキン、エピカテキン、没食子酸ガロカテキン、没食子酸エピガロカテキン、エピガロカテキン、および没食子酸エピカテキン、および前記のカテキン類の薬剤的に許容しうる塩、からなる群から選択されるカテキンを含む前記薬剤組成物。

【請求項 2】

選択されるカテキンがエピカテキンである、請求項 1 記載の薬剤組成物。

【請求項 3】

アミロイド疾患がアルツハイマー病、ダウン症候群、オランダ型のアミロイド症を伴う遺伝性脳出血、封入体筋炎、慢性炎症のアミロイド症、悪性腫瘍および家族性地中海熱のアミロイド症、多発性骨髄腫およびB細胞悪液質のアミロイド症、2型糖尿病のアミロイド症、プリオン病、クロイツフェルト-ヤコブ病、ゲルストマン-ストラウスラー症候群、クールー病、動物スクラピー、および狂牛病のアミロイド症、長期の血液透析のアミロイド症、手根管症候群、老人性心房性アミロイド症、および家族性アミロイド性多発性神経炎のアミロイド症、内分泌腫瘍のアミロイド症、全身性AAアミロイド症、ALアミロイド症、Aβアミロイド症、IAPPアミロイド症、およびPrPアミロイド症からなる疾病の群から選択される、請求項 1 記載の薬剤組成物。

【請求項 4】

アミロイド疾患がアルツハイマー病である、請求項 3 記載の薬剤組成物。

【請求項 5】

アミロイド疾患が全身性AAアミロイド症である、請求項3記載の薬剤組成物。

【請求項6】

アルファ・シヌクレインまたはNAC線維新生がレーヴィ体疾患、パーキンソン病、および多発性全身萎縮からなる疾病の群から選択される線維新生である、請求項1記載の薬剤組成物。

【請求項7】

in vitroの環境におけるアミロイド、アルファ・シヌクレイン、またはNAC線維新生の治療方法であり、in vitroの環境に治療的有効量のカテキン、エピカテキン、没食子酸ガロカテキン、没食子酸エピガロカテキン、エピガロカテキン、および没食子酸エピカテキン、および前記のカテキン類の薬剤的に許容しうる塩からなる群から選択されるカテキン、を投与する工程を含む前記方法。

【請求項8】

治療的有効量のカテキンが被験体に経口投与、非経口注射、腹膜内注射、静脈内注射、皮下注射、筋肉内注射、局所投与、およびエアロゾルスプレー投与からなる投与工程の群から選択される方法で投与される、請求項1記載の薬剤組成物。

【請求項9】

治療的有効量のカテキンおよび薬剤的に許容されるキャリアー、希釈剤、または賦形剤を含有する薬剤組成物であり、治療的有効量のカテキンが哺乳動物被験体におけるアミロイド、アルファ・シヌクレイン、またはNAC線維新生の治療において有効性を示すように選択される前記組成物。

【請求項10】

治療的有効量のカテキンが約10から1,000mg/kg被験体体重の範囲の投与量を含有する、請求項9記載の組成物。

【請求項11】

治療的有効量のカテキンが約10から100mg/kg被験体体重の範囲の投与量を含有する、請求項10記載の組成物。

【請求項12】

カテキンがカテキン、エピカテキン、没食子酸ガロカテキン、没食子酸エピガロカテキン、エピガロカテキン、および没食子酸エピカテキン、そして前記のカテキンの薬剤的に許容しうる塩、そして薬剤的に許容されるその類似体および誘導体からなる群から選択される、請求項9記載の組成物。

【請求項13】

カテキン、エピカテキン、没食子酸ガロカテキン、没食子酸エピガロカテキン、エピガロカテキン、および没食子酸エピカテキン、そして前記のカテキンの薬剤的に許容しうる塩、そして薬剤的に許容されるその類似体および誘導体からなる群から選択される2つ以上のカテキン類の混合物を含有する、請求項12記載の組成物。

【請求項14】

選択されるそれぞれのカテキンが植物または植物からの抽出物中に存在するカテキンの百分率より有意に高い純度百分率で存在する、請求項12記載の組成物。

【請求項15】

選択されるカテキンが実質的に純粋な単離された形態または合成された形態である、請求項14記載の組成物。

【請求項16】

哺乳動物被験体においてアミロイド疾患またはアルファ・シヌクレインもしくはNAC線維新生を特徴とする疾患を治療するための薬剤組成物であって、治療的有効量のカメリア（Camellia）属シネンシス（sinensis）種の植物由来の植物物質を含む前記薬剤組成物。